

2月4日：テト休暇が近づき上昇は緩やかに

ベトナム株は木曜日に続伸となったが、多くの大型株が下落した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.08%高の1,112.19ポイントで取引を終えた。火曜日と水曜日には3%以上の上昇を記録していた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.03%高の223.68ポイントで取引を終えた。こちらも前日の3%高よりも小幅な動きとなった。

BIDV証券によると、木曜日に力強い上昇トレンドは静まった。19セクターの内の9セクターのみの上昇に留まったことが示すように資金流入は鈍化し始めている。

流動性は減少。値幅も小さく、売り買いも拮抗していることから、テト休暇を前にして積極的な取引が減少していることを示していると同社は述べた。

テトの準備を始めるため、市場は穏やかな動きになるだろうと同社は予想した。

出来高は6.18億株で売買代金にして14兆ドンであった。

VN30指数採用銘柄では14銘柄が下落し10銘柄のみが上昇、6銘柄は変わらずだった。

ビンググループ (VIC)、ビンコムリテール (VRE)、バオベトホールディングス (BVH)、ベティンバンク (CTG)、ビナムミルク (VNM)、ホアファットグループ (HPG) などが下落した。

ペトロベトナムガス (GAS)、ペトロリメックス (PLX)、ペトロベトナムパワー (POW) などは1%以上上昇した。

その他、FPTコーポレーション (FPT)、VPバンク (VPB)、カンディエンハウス (KDH) などは3%以上の上昇となった。

バオベト証券によると、短期的には上昇を続ける。VN指数が1,115-1,118ポイントを上回っていれば、1,180-1,200ポイントの抵抗線に再び向かうだろう。

流動性は依然として高水準ではあり、投資家が先行きに楽観的なことを示している。

しかしながら、セクターごとにまちまちの動きとなるだろうと予想されている。

外国人投資家は買い越し、1870億ドルを両市場合わせて買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。